

(別紙4(2))

事業所名 グループホームにこやかハウス大谷

作成日: 平成 31年 3月 15日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に家族参加がみられず、事業所の本件における目的である「関わる皆さんの意見、助言を得て更なる発展を」に向けた取り組みとしては足りない。	運営推進会議を通じて家族の貴重な意見を得る。	4月の家族会で運営推進会議の意義を訴えるとともに、輪番制の導入等の方策を提案し、協力を仰ぐ。	4ヶ月
2	5	現在、介護相談員の来訪がない。	利用者が顔なじみや職員以外の人に話を聞いてもらえる機会をつくる。	市役所へ介護相談員の要請を依頼する。	3ヶ月
3	33	救急の際に家族が不在だった場合、延命治療などについてどうするのか、明瞭な確認がなされていない。	万が一の場合、家族不在でも家族と本人の意向が医師に届く。	4月の家族会または年2回の個別面談で意向を书面確認していく。	12ヶ月
4	45	入浴は清潔第一として、「楽しみ」にやや欠ける。	一人でも多くの利用者が入浴を好きになる。	職員間で「入浴の場にも楽しみを加えることはできないか」話し合う。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。